

# Day7

前置詞, 接続詞, 関係代名詞で  
より濃い文を作る!



## Unit18. 前置詞

前置詞とは、at、on、in などに代表される語のことを言います。前置詞は時や場所などの情報を付け加える働きを持ちます。atは <点> のイメージがあるので、時刻や地点など、点で捉えられる場合に使います。onは <面> のイメージがあるので、曜日や接地している状態など、点よりは広めの場合に使います。inは <空間> のイメージがあるので、月や年、空間など、より広めの場合に使います。

(前置詞は他にも、to、for、from、over などがあります。)

### \*時をあらわす前置詞

前置詞	例
時刻など	at 7:00 (7時に)
曜日など	on Sunday (日曜日に)
月や年など	in April (4月に), in 2030 (2030年に)

### \*場所をあらわす前置詞

前置詞	例
地点	at a supermarket (スーパーで)
接地している状態	on the wall (壁に)
空間の中	in a box (箱の中に)

## ～練習問題～

Q1. 空白に適した前置詞を選んで入れましょう。

1. \_\_\_ Thursday
2. \_\_\_ September
3. \_\_\_ 11:30
4. \_\_\_ January 24
5. \_\_\_ night

at, on, in

Q2. 日本語訳を手がかりに、空白に適した前置詞を選んで入れましょう。

1. There is a picture \_\_\_ the wall.  
(壁に絵が掛かっています)
2. They were playing \_\_\_ the street.  
(彼らは公園で遊んでいた)
3. I got up \_\_\_ 9 o'clock in the morning.  
(今朝、9時に起きた)
4. We used to go fishing \_\_\_ summer.  
(我々は夏に釣りにいったもんだ)

at, on, in

## ＼解答はこちら／

Q1.

1. on Thursday
2. in September
3. at 11:30
4. on January 24
5. at night

Q2.

1. There is a picture **on** the wall.  
(壁に絵が掛かっています)
2. They were playing **in** the park.  
(彼らは公園で遊んでいた)
3. I got up **at** 9 o'clock in the morning.  
(今朝、9時に起きた)
4. We used to go fishing **in** summer.  
(我々は夏に釣りにいったもんだ)

# Unit19. 接続詞

接続詞とは、ある要素と別の要素をつなげる際に使う語です。接続詞にはand (...と)、but (しかし)、or (または)、さらには when (...する時に)、if (もし...ならば)、because (...なので) などがあります。

## \*接続詞の種類1

接続詞	使い方
and (...と)	you <b>and</b> I (あなたとわたし)
but (しかし)	I tried hard <b>but</b> failed. (一所懸命やったが失敗した)
or (または)	coffee <b>or</b> tea (コーヒーまたは紅茶)

## \*接続詞の種類2

接続詞	使い方
when (...する時に)	I lived in Canada <b>when</b> I was young. (若い頃、カナダに住んでいた)
if (もし...ならば)	<b>If</b> you have any questions, please let me know. (もし質問があれば、教えて下さい)
because (...なので)	I was absent <b>because</b> I was ill. (病気だったので欠席しました)

## ～練習問題～

Q1. 次の接続詞の意味を選んで答えましょう。

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. but ( ___ )  | 4. because ( ___ ) |
| 2. or ( ___ )   | 5. and ( ___ )     |
| 3. when ( ___ ) | 6. if ( ___ )      |

...と, しかし, または, ...する時に, もし...ならば, ...なので

Q2. 日本語訳を手がかりに、文意に合う接続詞を選んで入れましょう。

1. My brother \_\_\_ I lived together for two years.  
(弟と私は2年間, 一緒に住んでいた)
2. I already knew this \_\_\_ my wife had told me.  
(妻が言ってくれたので, これについて既に知っていました)
3. \_\_\_ you don't mind, I'll go with you.  
(もしお気になさらなければ, 一緒に行きますよ)
4. Would you like milk \_\_\_ cream in your coffee?  
(コーヒーにミルクかクリームはいかがですか)

or, and, if, because

## ＼解答はこちら／

Q1.

1. but (しかし)
2. or (または)
3. when (...する時に)
4. because (...なので)
5. and (...と)
6. if (もし...ならば)

Q2.

1. My brother **and** I lived together for two years.  
(弟と私は2年間、一緒に住んでいた)
2. I already knew this **because** my wife had told me.  
(妻が言ってくれたので、これについて既に知っていました)
3. **If** you don't mind, I'll go with you.  
(もしお気になさらなければ、一緒に行きますよ)
4. Would you like milk **or** cream in your coffee?  
(コーヒーにミルクかクリームはいかがですか)

# Unit20. 関係代名詞

関係代名詞は、who、which、that などに代表される語です。節を結びつけつつ、名詞の代わりとして使われます。

## \* 関係代名詞の使い方

	人が先行詞	物が先行詞
主格	who, that	which, that

(本稿で紹介するのは「主格」と呼ばれる用法です。  
関係代名詞は他にも、目的格や所有格の使い方があります。)



次の例を見てみましょう。

I have a friend who speaks French.  
(私にはフランス語を話す友人がいます)

ここでは、I have a friend (友人がいる) の箇所に、who speaks French (フランス語を話す) が続いています。

who は 後半の箇所をつなげるのと同時に、speaks French の主語になっています。

先ほどの例文は、2つの文に分かれており、それを who によってくっつけたと言えます。英文を分解すると、次のようになります。

I have a friend. (私には友人がいます)

He/She speaks French. (彼／彼女はフランス語を話します)

→ I have a friend who speaks French.  
(私にはフランス語を話す友人がいます)

この時、a friend のことを先行詞と呼びます。関係代名詞は、先行詞の種類によって、異なるものを使います。

## ～練習問題～

Q. 空白に適した関係代名詞（which または who）を入れて、文を完成させましょう。

1. I met a lady \_\_\_ lives in Kyoto.  
(京都に住んでいる女性に会った)
2. I've written a book \_\_\_ is about social media.  
(ソーシャルメディアに関する本を書きました)

## \解答はこちら／

Q1.

1. I met a lady **who** lives in Kyoto.  
(京都に住んでいる女性に会った)
2. I've written a book **which** is about social media.  
(ソーシャルメディアに関する本を書きました)